

道標ない旅

自分も人も大切に
～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



令和3年度 第27号
2021.11.8発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 11月の行事予定表を紹介します。 ◆◆

日	曜日	週	11月行事予定	授業時数							
				1	2	3	4	5	6	60	モ
1	月		コミスク研修会	5	5	5	5	5	5	●	
2	火	B	教育実習終了	5	5	6	6	6	6		○
3	水		文化の日								
4	木	週	朝の集い(月目標)	5	5	5	6	6	6		
5	金		避難訓練②	4	5	5	5	5	5	●	○
6	土		にこにこ保育園運動会								
7	日										
8	月		3年消防署見学	5	5	5	5	4	5	●	
9	火	A	5年宿泊学習(1日目)6年アルバム個人写真 SC来校日	5	5	6	6	6	6		○
10	水		5年宿泊学習(2日目) 秋の遠足(4年)	5	5	5	6	5	5	●	○
11	木	週	朝の集い(校長) 音楽鑑賞会 代表児童会	5	5	5	5	4	6		
12	金		ふれあい体験事業(6年)学校関係者評価委員会	4	5	5	5	5	5	●	○
13	土										
14	日										
15	月		秋の遠足(3年) クラブ活動⑤(写真)	5	5	5	6	6	6	●	
16	火	B		5	5	6	6	6	6		○
17	水		プール(3年②)	5	5	5	5	5	5	●	○
18	木	週	秋の遠足(低学年) 代表児童会	5	5	5	6	6	6		
19	金		朝の集い(児童) 職員会議	4	5	5	5	5	5	●	○
20	土										
21	日										
22	月		委員会活動⑤(写真)教育委員学校視察	5	5	5	5	6	6	●	
23	火	A	勤労感謝の日								
24	水		個人面談①	5	5	5	5	5	5		○
25	木	週	朝の集い(児童) 個人面談②	5	5	5	5	5	5		
26	金		個人面談③ SC来校日	4	5	5	5	5	5		○
27	土										
28	日										
29	月	B	プール(4年①) 遠足予備日(3年) 個人面談④	5	5	5	5	5	5		
30	火	週	プール(3年③) 個人面談⑤	5	5	5	5	5	5		○

- (1) 5年宿泊学習 11月 9日(火)～
11月10日(水)
- (2) SC来校日は以下の通りです。
11月 9日(火)
11月26日(金)
利用希望は教頭までお伝えください。
- (3) プール関係 (丸数字は何回目かを表示)
17日(水) 3年生②
29日(月) 4年生①
30日(金) 3年生③
- (4) 朝の集い
11月 4日(木) 月目標(終了)
11月11日(木) 校長集会
11月19日(金) 児童担当(体育委)
11月25日(木) 児童担当(図書委)
- (5) クラブ・委員会関係
11月15日(月) クラブ活動日
11月22日(月) 委員会活動日
両日とも、写真を撮る予定です。
- (6) 音楽鑑賞会
11日(木)
- (7) サポート学習教室
A週の11月12日(金)および
11月26日(金)は、
週2回参加者の参加日です。
尚、12月は、10日・17日を
週2回参加者の参加日とします。
- (8) 特設授業
3年消防署見学 11月8日(月)
6年生特別授業
11月12日(金) 体育館にて
- (9) 個人面談(希望のある方のみ実施)
11月24日(水)～30(火)

※今回上記「月予定」の発行を忘れてしまっていたこと、ご不便をかけたこととお詫び致します。

◆◆ 今月は、キャンプや遠足といった行事が続きます。体調管理をしっかりしましょう。 ◆◆

キャンプを前に、5日(金)には、喉の痛み等の症状で、念のため学校を休む児童が5年生で8名いました。熱や咳・喉の痛み等の症状で休む児童は、学校全体では、16名に広がっています。学校評価アンケートでは、未だに日常の学校生活において「マスク着用」をお願いしている学校の姿勢に、疑問符を示される保護者の方もおられました。しかし、子供達が楽しみにしている行事に、児童みんなが参加できるように願い、今しばらく健康状態の把握に努めていきたいというのが、学校の基本姿勢です。「世間がこれだけ収まっているのに、学校は対応や決断が遅い！」と思われる方には、煮え切らない学校の姿勢に、「なんだかな!？」と感じられると思いますが、学校現場はそれほど安全で「症状と無縁の状態」にはなっていないことを、ご理解頂けると幸いです。

◆◆ 苫野一徳という教育哲学者がいます。今日はその人の一言から ◆◆

哲学は、「教育とは何か?」「道徳とは何か?」「良い社会とは何か?」といった事柄の“本質”、“つまり一番の根っこ、根本をとことん考え抜いて解き明かします。“本質”とは共通理解可能な考え方のことです。

“本質”とはいっても、それはもちろん、「絶対に正しい真理」のことではありません。できるだけだれもが、「なあるほど、それは確かに本質的な考えだ!」とうなってしまうほどに考え抜かれた“共通理解”可能な考え方。それがここでいう“本質”の意味です。

先にも挙げた、「よい社会とは何か」といった哲学的なテーマについて話し合うとき、わたしたちはついつい、「それって人それぞれだよ」で済ませてしまうことがあります。でも、多様な人たちが共存せざるを得ないこの社会の中では、わたしたちは、「よい社会なんて人それぞれだよ」で済ませるわけにはいきません。「みんな違ってみんないい」は、確かにすばらしい考えです。でもこれは、とすれば、あからさまな暴力支配も、ナチスのような全体主義も、最後の最後で批判することのできない「なんでもあり」の考えになってしまいかねないのです。

まずはだれもが「なあるほど、それは確かに『良い社会』について本質的な考え方だ」という考え方を見いださない限り、わたしたちはこの社会をどう作っていけば良いのか分からなくなってしまうのです。

わたしたちの人生には、「人それぞれ」や「みんな違ってみんないい」では済ませられない場面が多々あります。対立や争いを避けたり終わらせたりするために、「ここまでならみんなが納得できる」という“共通理解”可能な考えにたどり着かなければならないときもあるのです。(光村図書 道徳科通信 “本質”を洞察する より)

こんなお話を紹介するのは、学校が設ける“きまり”や要請について、最近考える場面があるからです。いわゆる“校則”といったものは、今は、「部分社会論」(現在最も表立って主張される理論であり、学校は自律的な部分社会であり、そこでの内部規律については法や人権が犯されない限り、外部は干渉すべきでないとするもの。また、憲法上の諸権利を根拠とした干渉についても、これらの権利は主として公権力と個人との関係を規定したもので、私人関係の関係には援用されないとされる。)や「在学契約論」(おもに高等教育や私立学校について、校則の存在や学校の制定権について、入学時に自由意志に基づいて契約が成立したものと(明文の規定がなくても)考える説。)【以上 Wikipedia「校則」より】で解釈や説明がなされます。だからこそ私学の高校などは、ある程度社会通念よりも厳しい制限を設けたりすることが出来る実情があります。

その現実が迫る中学校では、一定のきまりを守ることが出来るように指導していきます。実際、入学試験という壁をまえに、「個人の自由、憲法に違反していない」として自由な服装や髪型で試験や面接試験に臨む生徒は、いないのが実情です。

一方、公立の小学校はどう考えていくのが良いのでしょうか。小学校の場合、「保護者の方の考え方」や「高校入試を控えた中学校段階とはまだ違う」という要素が加わります。本来、表現の自由に係る、服装や髪型・おしゃれといった要素は、憲法上では自由であるはずなのが大原則になることは、間違いないことでしょう。そこを否定するつもりは全くありません。その上で、「でも分かっているほしいな」ということが1点あります。

私は30年近く中学校での教師生活を送ってきました。その経験でいえば、上手に人生の波を乗りこなしてほしいと思っています。小学校時代に、服装や髪型やおしゃれに興味を持ってチャレンジするのは構いません。でも、そのことを「こだわり」にまで育てないように、自分自身と上手に付き合ってもらいたいのです。「こだわり」にまで育ててしまった生徒(児童)の生活を見てきた限り、大変生きづらい、ゴツゴツとした生き様に、なってしまう人がほとんどだからです。もっと楽で、楽しい別の中学校生活があるはずなのに、いわゆる反抗期という成長過程も加勢して、思わぬ生き方を選ぶしか無くなってしまいます。「長い人生それも良し」かもしれませんが、別の可能性、別の広がりがあったかもしれない人生という点は、見逃してほしくないと願っているのです。

多様な人たちが共存するこの社会の中では、わたしたちは、「よい社会なんて人それぞれだよ」で済ませるわけにはいかないのかもしれないことを心のどこかで、押さえていく必要があります。

◇◇ 葉山にこここ保育園の運動会を見学させて頂きました。小学生も多数参加していました。 ◇◇



11月6日(土)長柄小学校校庭にてこここ保育園さんの運動会が抜けるような青空の下開催されました。私も会場校校長として見学させて頂きました。園長先生自らが走りのスペシャリストであることから、とても保育園児とは思えないような走力を持っている園児の姿に目を丸くしました。年長の「たけのこ」さんは写真の「ソーラン節」を披露してくれたので、本校運動会も思い出しながら楽しませて頂きました。昨年度は開催できなかった、こここ学童児童や、卒園生が参加する小学生の運動会も開催され、本校児童も多数参加して楽しんでいました。こういったフォローがあることもなかなか楽しいものだと改めて感じました。